

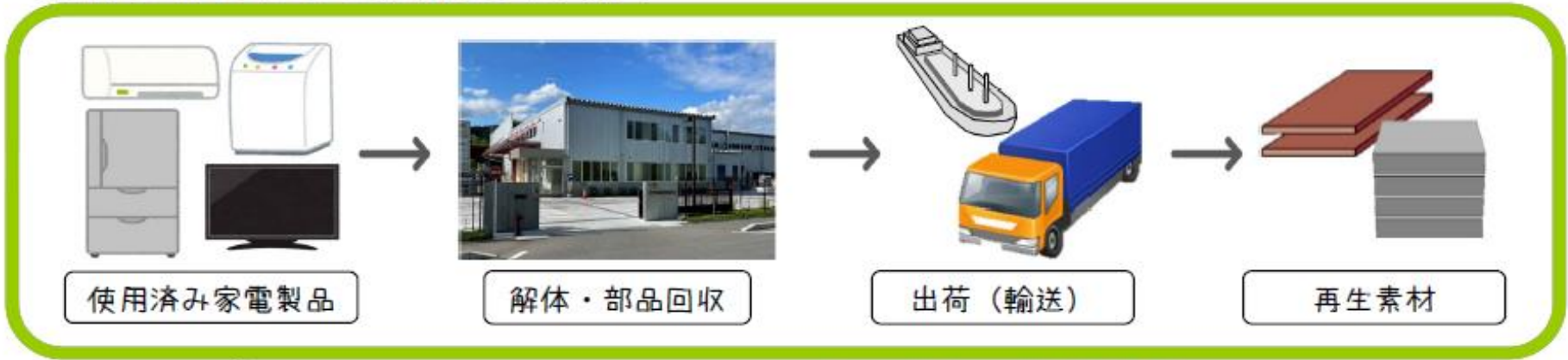


# 家電リサイクルのLCAの考え方



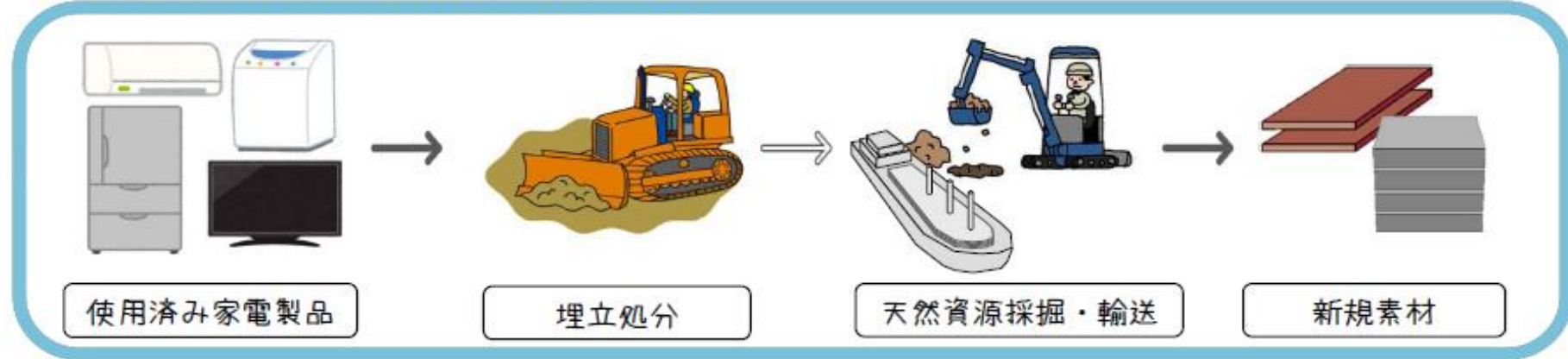
※ LCA (ライフサイクルアセスメント) = 製品のあらゆる環境負荷を定量的に評価する手法

## 家電リサイクルを実施した場合



これらの過程で使用されるエネルギーや鉱物資源、排出される温室効果ガスや埋立処分量を比較

## 家電リサイクルを実施しない場合



※2023年度のLCA評価は「産総研 IDEA Ver. 3.4」を用いて算出

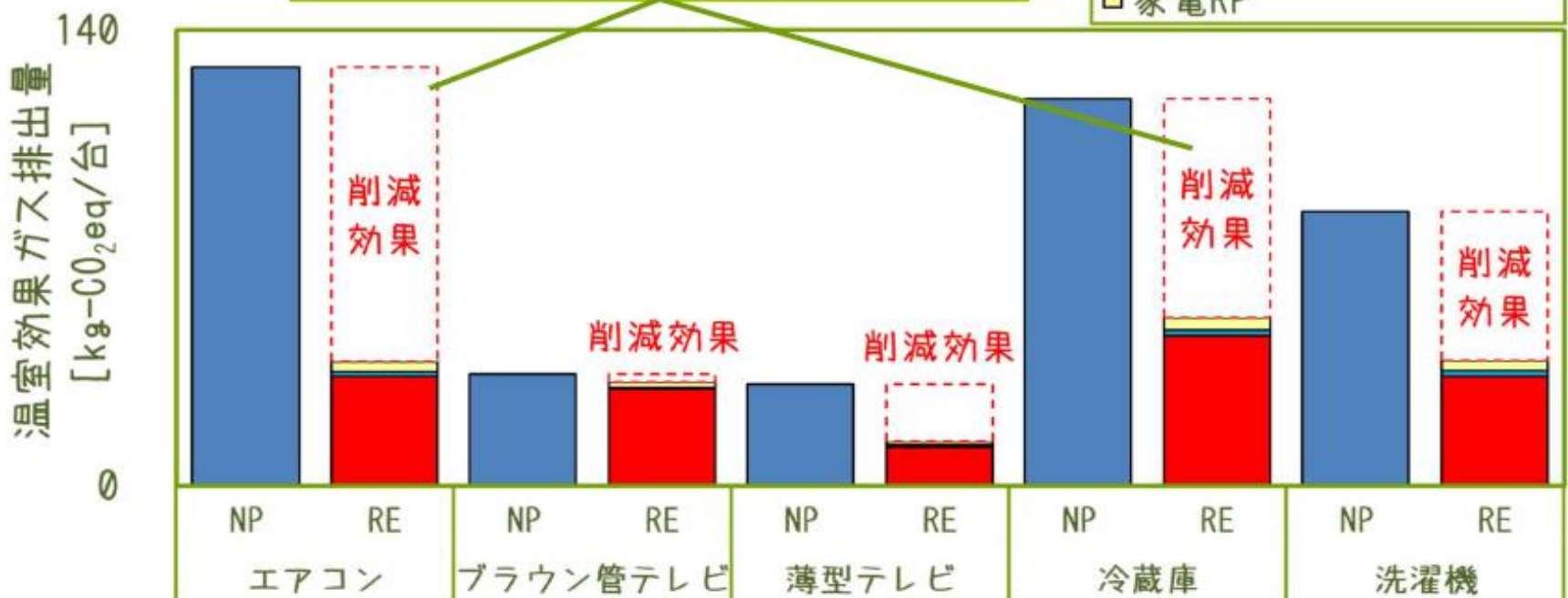


# 温室効果ガス排出量の削減効果



銅やアルミの割合が高い家電は、温室効果ガスの削減効果が大きい

- 埋立
- 再生
- 家電RP
- 新素材製造
- 輸送



NP・・・リサイクルなかった場合 RE・・・リサイクルした場合

## 家電1台当たりの温室効果ガス削減効果





## 環境負荷削減効果②



回収素材	再生素材重量(+)
鉄スクラップ	約5,600
銅スクラップ	約650
アルミスクラップ	約460

鉄スクラップ再生量

自動車 6,800台

※自動車に使用される鉄 820.7 (kg/台)



銅スクラップ再生量

奈良の大仏 1.3体

※奈良の大仏に使用される銅 499 (+/体)



アルミスクラップ再生量

350mlアルミ缶 2,900万本

※アルミ缶重量 16 (g/缶)



原油使用量の削減効果  
約9,500 +-原油/年

2,900人が

1年間に消費するエネルギー量

※日本人1人あたりの1kWh-使用量 3.406 (+-原油/年)

資源エネルギー庁「エネルギー白書(2024年)」より引用



## EJRSで回収される金と銀



	エアコン	ブラウン管 テレビ	薄型 テレビ	冷蔵庫	洗濯機
基板の回収量 (+)	171	44	92	37	107
銀プレートの回収量 (+)	-	-	-	-	0.04



金のリサイクルによって 約9,300トン

銀のリサイクルによって 約1,200トン



の天然資源の採掘をせずに済む!

※ 金と銀のリサイクル量は、基板と銀プレートの品位情報から計算



天然資源掘削量が大きい金・銀を回収することで、  
環境負荷低減に大きく貢献している!

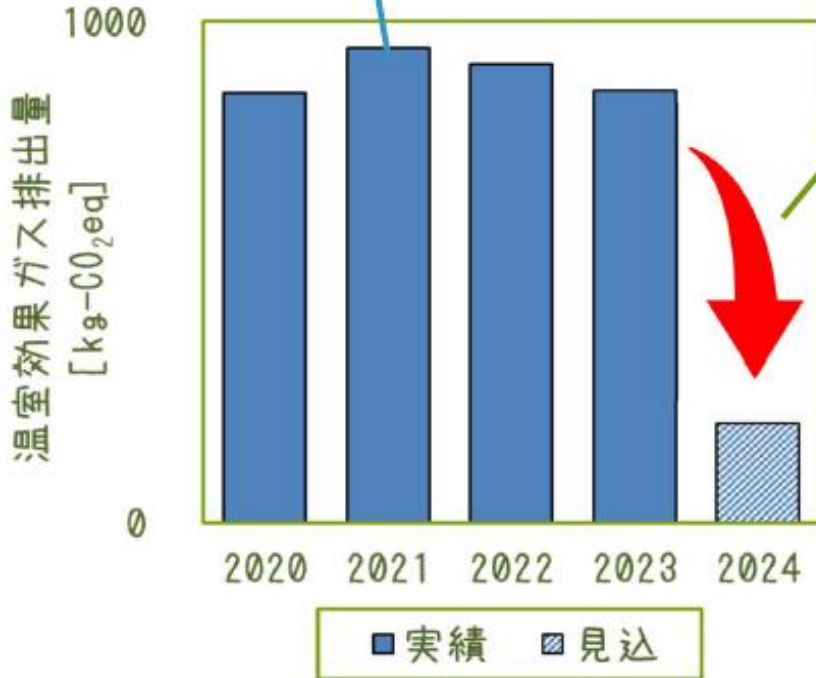




# EJRSの温室効果ガス排出量



東棟が新設された  
2021年をピークに減少傾向



2024年度～

再生可能エネルギー由来の電力に切り替え



電力由来の温室効果ガスが大幅に削減される！

※ EJRSの温室効果ガス排出量の算出には、ユーティリティ使用量（電力、ガス、灯油等）を活用

※ 再生可能エネルギー由来電力への切り替えには、FIT非化石証書を活用（詳細は右QRコード→）



EJRSの温室効果ガス排出量の年次推移